

## 第13回市民自治推進委員会 防災・環境部会会議録

◆開催日時：平成30年 2月 7日（水） 18：00～

◆開催場所：登別市役所2階 第2委員会室

◆出席部会員：部会長 江口 武利  
副部会長 川島 芳治  
部会員 丸 博子  
久保田 博史  
和泉 薫  
遠藤 潤  
千葉 浩樹（協働推進庁内委員会）  
【総務部次長】  
志水 孝暢（協働推進庁内委員会）  
【総務部総務G総括主幹】

◆事務局： 笠井 康之【市民生活部市民協働G総括主幹】  
笹田 恭平【市民生活部市民協働G】

◆その他： 鳴海 文昭【登別市連合町内会事務局長】

◆議題： 避難訓練のデータ収集用紙最終決定

### 《事務局》

皆さん、こんばんは。

本日は、登別市連合町内会事務局長をお招きし、避難訓練の実施報告用紙について最終決定の協議を行います。

前回までの部会で、町内会の方が記入しやすい用紙にする方向で話が進んでおり、事務局で皆様のご指摘などを基にアンケートを作成しました。

昨年末には、連合町内会事務局長にご協力いただき、各地区連の会長宛に避難訓練の実施の有無について調査しました。

この調査を基に避難訓練実施町内会宛にアンケートを送付し、データの収集を行いたいと思っております。

この用紙で最終決定し、避難訓練実施町内会に2月中に提出を依頼する形で発送しようと思っております。皆さんどうですか。

**【部会長】**

鳴海事務局長に判断を仰ぎたいと思いますがどうですか。

**【鳴海事務局長】**

近年、登別市の防災体制は、他の北海道の市町村と比べても優れていると感じております。その背景に、平成24年の大規模停電があると思われます。連合町内会は情報伝達が大切であると考え、11地区の連合町内会の情報伝達網を作成しました。

これは、災害が発生した時に、各地区連合町内会経由で、各町内会に情報伝達を図るものであります。

登別市は、津波災害や、河川での災害、土砂災害などさまざまな災害が予想され、避難訓練の実施が被害を最小限に抑えるための大切な手法と考えます。

避難訓練を実施した町内会に対して、アンケートの記入を依頼すると聞きましたが、その目的は。

**【部会長】**

各町内会等で避難訓練は行っていると思いますが、市で全ての把握はしていないと思われます。

防災・環境部会では、全町内会等が災害に対する避難訓練をすべきと考えております。

実際にどれだけの町内会が訓練を行っているのか、そして、どのような訓練を行っているのかを集計し、開催していない町内会に対しては、防災・環境部会として、開催を促すことも考えるつもりでおります。

**【鳴海事務局長】**

私は、この用紙でさまざまなデータを取れると思うので、これでいいと思います。

避難訓練を行うことで、危険箇所などの情報も得られますよね。他の町内会の取組内容を共有することで、自分の町内会との比較、訓練を行っていない町内会には、「自分の町内会も備えなければ」との考えになることが期待されますね。

**【副部会長】**

データを取り、検証することで次回以降の訓練の参考になりますし、天候を含め、多くの経験することが大切ですね。

**【鳴海事務局長】**

災害はいつ起こるかわからないですし、必要なことですよね。大きな災害になれば、警察や消防がすぐ助けには来ません。最初に助けにくるのは近所の方です。

そのためには、日頃から、近所で、助け合い・支え合いの活動をすることで、体が不自由な方の把握もでき、有事の際はお互い助け合って逃げる、これができるですね。日頃からの近所付き合いが大事だと思います。

**【部会長】**

現在、2年に1回、登別市総合防災訓練が開催されていますが、開催年の翌年は、開催日を決め、各地区で訓練を行うことも考えたほうがいいと思います。

**【鳴海事務局長】**

そのことについて、現在、連合町内会の生活・安全部会でも検討している段階であります。

避難訓練実施報告書に炊き出し訓練とありますが、高齢者だけで炊き出し訓練を行うのは難しいです。

**【副部会長】**

若い世代の町内会加入率が低いことと、仕事があり、休日は家族を優先しますので訓練自体の参加も少なくなっています。

**【部会長】**

若い世代が町内会に加入してくれると嬉しいですね。若い世代に町内会未加入だけでなく、現在は老人クラブの加入も減少しています。

**【鳴海事務局長】**

連合町内会と行政の話し合いの中で、市民のために働いている市の職員が、平日の業務だけではなく、班長や役員などの役職に就き、休日も町内会活動に協力してもらいたいとの考えを伝えました。

**【事務局】**

避難訓練実施報告書の内容はこのままでいいですか。

**【部会長】**

一番下に、各町内会の特徴的な取組など、自由に記載できる欄を設けたほうがいいのかもかもしれません。

**【事務局】**

この用紙は、訓練を行った町内会のみで発送し、回答をもらうという形でしたね。

**【部会長】**

はい。まずはその形でやっていきたいと思います。

**【部会員】**

実施報告書に参加者年齢層を書く欄がありますが、毎回、各町内会で把握していますか。

**【事務局】**

把握している町内会と把握していない町内会があると思うので、把握できる限りでの回答を頂こうと思っております。

子どもの参加が多い町内会があれば、呼びかけの手法を聞き、他の町内会も実践していただければ、と思っております。

わかりにくいと思うので「わかる範囲でお願いします」の言葉を付け足します。

**【鳴海事務局長】**

そうですね。付け足したほうがいいですね。

**【部会長】**

避難訓練の時でも、実際に災害が起こった時の事を考えて、人命の確認をするために避難者の年齢、氏名を確認できる体制にしたほうがいいと思います。

訓練時から習慣をつけることで、災害が起きた時の混乱を防ぐことができます。

ですが、今回は初めての試みなので、この実施報告で進めましょう。

**【事務局】**

わかりました。先ほどの議論のとおり、内容を修正し、避難訓練実施町内会に実施報告書を発送する準備を進めたいと思います。

### 【事務局】

前回の部会の話題になりますが、ウォーキングマップの進捗状況の話がありましたので、現時点でのウォーキングマップをお配りしました。

これは社会教育グループと都市調和部会が、一緒にアイデアを出しながら作成しているもので、完成に近づいております。

いままでのマップは5～6枚の枚数が多いものでしたが、今回は登別を3地区に分け、1冊のマップとして作成する予定です。

内容は、市の防災マップから高台避難所をピックアップし、載せています。あと、2次元バーコードも活用し、さまざまな情報も載せる予定です。表紙につきましては、都市調和部会員に工学院の先生がいますので、学生に表紙の作成を依頼します。完成は、今年度中を予定しております。

マップが完成次第、防災・環境部会で実際に歩くとの話が出ていましたが、具体的にどのような形でやりましょうか。

### 【副部長】

全ての地区を歩くのは難しいです。それぞれの地区の方に任せたほうがいいのではないですか。

### 【部長】

皆さんの都合上、平日はできないので、週末の昼間に行くしかありませんね。まず、部会で実際に歩く形を取りたいですが、歩くのも大変な体力を使ってしまうので、市バスを借りて全部のコースを回るのもいいですね。

### 【事務局】

部会の考えとして、どのようにやりたいかを伝えていただければ、事務局としてバックアップします。

### 【部長】

以前は、マップができたなら活用し、ウォーキングをすると話しましたが、皆さんの都合等もありますので、全員集まって実施するのも難しいですね。

市のバスで回るのであれば、約20人乗りますので、他の部会にも参加してもらう方法もあります。

### 【事務局】

市民自治推進委員会だけでやるのか、市民にも周知して行うのかも考える必要があると思います。

**【部会員】**

最初は、部会で1度確認したほうがいいと思います。

**【部会長】**

そうですね。回るのであれば、市バスを使って、皆さんの都合上、週末に行うべきですね。

**【部会員】**

高台避難所は市内にたくさんあると思うので、1日で回るのは大変ですね。

**【庁内委員】**

バスで行けない所もあります。

**【部会長】**

行ける場所を選定して行きましょう。

**【部会員】**

回るとしても、1日で6～7か所くらいですね。

**【部会長】**

マップが完成次第、更なる協議を進めましょう。

**【事務局】**

現在、各部会、健康を共通のテーマで進めていますが、本来のそれぞれの取組を進めていきたいと思いますという話も出ていますので、防災・環境部会でもこのテーマが終わった後、何を話し合うかを検討していければと思います。

**【部会員】**

話が戻りますが、ウォーキングマップについて、歩いたコースの景色などの感想をホームページ上に投稿し共有できるようにしたら、歩く人も増えると思いますし、ウォーキングマップを活用して歩く人がいれば、参考になると思います。

**【事務局】**

社会教育グループや都市調和部会に伝えます。

次回の部会は、避難訓練実施報告書を集約してからの開催でよろしいですか。

**【部会長】**

そうですね。集約してからですね。

次回もなるべく全員参加でよろしくをお願いします。

**【次回の内容】**

アンケート集約、今後の取組についての協議。